

○「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」素案におけるパブリックコメント意見とその対応について

実施時期：平成27年12月20日（日）～平成28年1月12日（火）

提出件数：3件（内訳：インターネット手続き1件、意見投函箱1件、FAX1件）

延べ意見数：14件

- ◆基本目標1：安定した雇用を創出する
- ◆基本目標2：新しい人の流れをつくる
- ◆基本目標3：子育て・子育てをみんなで支える
- ◆基本目標4：いつまでも安心して暮らし続けられるまちをつくる

N O	該当ページ	該当する 基本目標	該当事業	主なご意見（要約）	ご意見への対応	お住まい の地域
1	P37	基本目標1	シニア世代の知識や経験を活かす場づくり	かつて企業で働いていた人のキャリアアップやリタイア後の活躍を支援するために、IT関連の職業訓練校が必要である。	パソコン教室等のIT関連の講座は、現在市民団体や社会福祉協議会等の講座が市内で多く実施されています。こうした民間レベルの取り組みが盛んに行われているというのは本市の特徴でもあり、引き続き民間と行政の役割分担をしながら、よりよいまちづくりを進めていきます。	鶴牧
2	-	基本目標1	(該当なし)	地域大学と連携し、社会人向けクラスの充実すべきである。加えて、地域大学の社会人向けクラス情報を市役所等のHPから発信も行うべきである。	本市では、現在市内4大学を含む9大学と協定を結び、まちづくりを共に進めています。そうしたことから、市民向けの講座等、大学の依頼があったものは広報に掲載協力しています。有料の授業等は営業的な面もあるため、中立・公正な立場である地方公共団体がどこまでホームページ等で紹介できるか、検討を深めていく必要があると考えます。	鶴牧
3	-	基本目標1	(該当なし)	一本一本の果樹にオーナーを募集する等、雇用の創出を目的として、里山を利用した観光農園を実施してはどうか。皆の果樹園だけではなく私の木を持ってもらうことで採算も合うのではないか。	雇用創出の目的でご提案を頂きましたが、農地自体が少ない多摩市の現状では雇用を目的とした観光農園の実施は難しいと考えております。しかしながら、本戦略では交流人口の増加を目的とした特色ある公園づくりとして、体験型農園等の取り組みについての検討をしています。	鶴牧
4	P40	基本目標2	空き家対策の推進	駅から遠いマンションの空き家情報を市がインターネットで流してほしい。	「空き家」への課題については、市内の空き家（空き室）の実態調査を行い、今後の中古住宅の流通促進への利活用等を検討しています。その中でどのように「空き家」の流通が図られるか検討していきます。	鶴牧
5	P43	基本目標2	定住促進のためのまちのPRの推進	多摩センター地区は、車道と歩行者用道路が分離された世界的にも珍しい街であり、子供、若者を引き付ける施設もたくさんある。これだけの特色を持った街であるということを伝えられる魅力あるホームページに改訂した方が良いと思う。	本市では平成27年にまちの魅力の発信サイト「丘のまち～東京・多摩ニュータウンに暮らす～」を立ち上げました。市としては、多摩ニュータウン再生の取り組み、若者・子育て世代をひきつけるようなコンテンツとして、こちらのwebサイトを通じた魅力の発信を引き続きしていきます。公式ホームページにおいても、現在リニューアルを検討中であり、多摩市の魅力発信に努めています。	鶴牧
6	P41-43	基本目標2	・聖蹟桜ヶ丘駅周辺地区の活性化 ・地域間の連携事業の推進 ・シティセールス戦略の構築 ・地域資源を活用した魅力発信による知名度向上	多摩市の観光スポットとしては映画「耳をすませば」の舞台（聖蹟桜ヶ丘等）となっていることが挙げられるが、所沢市の狭山丘陵における「トトロの森」など、スタジオジブリを観光スポットにしている自治体との連携をしてはどうか。（他の自治体でも、ゆかりのものをフックに広域でタグを組んで、予算を救出し、企業から出資を募って、観光の取り組みを行っている好事例が存在する。）	本市では、映画「耳をすませば」やハローキティなど、市にゆかりのあるアニメーションやキャラクターを活用した事業に取り組んでいます。本戦略においても「聖蹟桜ヶ丘駅周辺地区の活性化」事業として、映画「耳をすませば」等に関する事業に取り組めますが、作品の世界観を保つことや著作権等の制約があり、どのような連携事業が展開できるかは、調整を図りながら進めていきます。	一ノ宮
7	-	基本目標2	(該当なし)	新婚者、幼い子供を持つ家庭限定の住宅融資制度を創設してほしい。	若い世代・子育て世代の呼び込みは本戦略の柱です。現在、新婚者、幼い子供を持つ家庭に限らず、若い世代・子育て世代の転入・定住促進策や空き家の活用・住替え支援の事業の検討を進めているところです。	鶴牧
8	-	基本目標2	(該当なし)	リゾート地では、ガラス細工、陶芸等の体験教室が花盛りです。体験教室は遠方にある必要はなく、住居の近くでも成功すると思うため、常設の体験教室を設置してはどうか。	本戦略では、「新しい人の流れをつくる～新たな交流と若い世代の呼び込み～」を基本目標のひとつとして定めており、市の魅力発信、来街促進、定住促進をキーワードとして、多様な取り組みを実施しますが、すべてを行政が行うことは難しいことから、民間企業等と役割分担しながら、進めるものも多くなると考えています。ご意見を参考にしながら、今後の展開を考えていきます。	鶴牧

○「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」素案におけるパブリックコメント意見とその対応について

実施時期：平成27年12月20日（日）～平成28年1月12日（火）

提出件数：3件（内訳：インターネット手続き1件、意見投函箱1件、FAX1件）

延べ意見数：14件

- ◆基本目標1：安定した雇用を創出する
- ◆基本目標2：新しい人の流れをつくる
- ◆基本目標3：子育て・子育てをみんなで支える
- ◆基本目標4：いつまでも安心して暮らし続けられるまちをつくる

N O	該当ページ	該当する 基本目標	該当事業	主なご意見（要約）	ご意見への対応	お住まい の地域
9	P45	基本目標3	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児の保育量の拡大 ・認定こども園への移行支援 ・事業所内保育所の整備支援 	<p>子供が増えても待機児童が増えないよう、保育所施設を充実すべきである。</p>	<p>本市では、多様な保育ニーズに応えるため、特に3歳未満児に集中している待機児童対策として、事業所内保育所の活用、小規模保育所の新設などの地域型保育の充実を図ります。また、認可保育所及び幼稚園の認定こども園への移行を通じて、質の高い教育・保育サービスの基盤設備を進めます。将来の保育ニーズのピークアウトも見据え、様々な保育形態を組み合わせることでニーズに対応していきます。</p>	鶴牧
10	P34	-	(全体)	<p>「市民が輝いているまち キラキラ多摩 仕事、子育て、健康でえられるまち 多摩」を総合戦略のキャッチフレーズ案として提案する。</p>	<p>ご提案ありがとうございました。キャッチフレーズは多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会からのご提案を採用させていただきましたが、ご提案の趣旨は今後の展開に活かしていきます。</p>	愛宕
11	-	-	(全体)	<p>多摩市の歴史の視点を入れてください。</p>	<p>総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」に則って、国と地方が一体となって人口減少に取り組むために策定するものです。将来を考える上で、過去を振り返ることは重要であることから、多摩市の過去の経緯や現状について、人口ビジョンで分析・検討を行った上で、具体的な施策に反映させております。</p> <p>また、多摩市の歴史を語る上で切り離せないニュータウンについては、本戦略でもニュータウン再生の取り組みは記載しております。これについても上記と同様に、過去の経緯や反省点を十分に分析・検討した上で、今後の再生の取り組みに活かします。</p>	愛宕
12	-	-	(全体)	<p>多摩市自治基本条例と多摩市男女平等条例の視点、多摩市非核平和宣言の視点を入れてほしい。</p>	<p>市の施策を進めるうえで、多摩市自治基本条例、多摩市女と男の平等参画を推進する条例、多摩市非核平和宣言はベースとなるものです。具体的な施策としては個別に反映させることは難しいですが、全体的な視点として、それらを踏まえながら、本戦略を作成しています。</p>	愛宕
13	-	-	(全体)	<p>高齢化が急速に進行し、単身世帯も増加している状況であるので、多世代の視点を入れるべきである。</p>	<p>多摩市人口ビジョンでもお示したとおり、平成72年（2060年）の高齢化率は43.1%になると推計されています。これを踏まえて、本戦略では、「いつまでも安心して暮らせるまちづくり」を将来の姿として目指します。</p> <p>各施策でも多様な世代に安心して暮らしてもらえるための視点を入れ込んでおり、雇用・就労支援策についても女性、若者、シニアの様々な世代・視点を捉えた施策を検討しています。このほか、健康都市（スマートウェルネスシティ）の推進の取り組みにおいても、身近な相談拠点の整備を通じて、多世代間のコミュニティづくりにもつなげる取り組みを検討しているなど、各施策を通じて、多様な世代・視点にアプローチしていきます。</p>	愛宕
14	-	-	(全体)	<p>結婚したいと感じるまち、子どもを生み育てたいと感じるまち、多摩市生まれの若者に愛されるまち、ひとり暮らしに温かいまち、高齢者に温かい魅力的なまち、障がい者に温かい魅力的なまち、外国人に温かい魅力的なまちの視点をいれてほしい。</p>	<p>いずれの視点についても、基本目標1～4に包含すると考えます。</p> <p>具体的には、若者に愛されるという視点については「基本目標2：新しい人の流れをつくる」に該当し、結婚・子どもの視点は「基本目標3：子育て・子育てをみんなで支える」に該当し、それ以外の視点については「基本目標4：いつまでも安心して暮らし続けられるまちをつくる」に該当すると考えます。</p>	愛宕